



トヨタ カローラ ルミオン

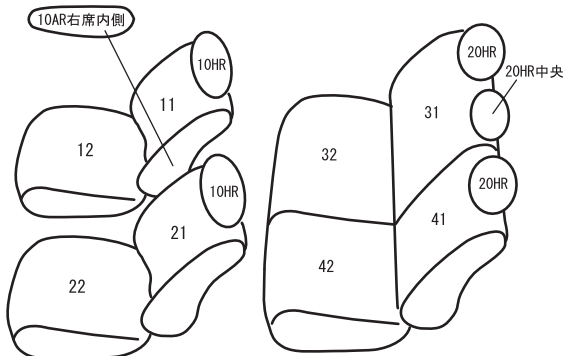
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

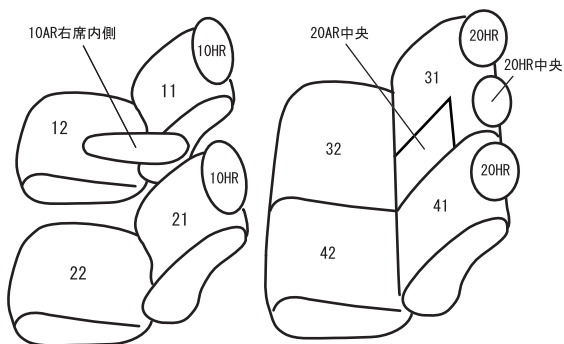
本製品シート形状とパーツの名称

※運転席アームレスト付き車用

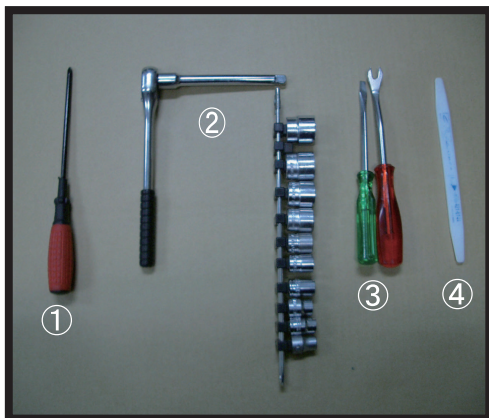


2列目アームレスト無し車

2列目アームレスト有り車



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。
*この車種では、③の工具は使用しません。

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL 072-330-8000 / FAX 072-330-8816

この度は当社商品を御購入いただき誠に有り難うございます。

取付の際は本書をよくお読みの上、十分な注意を払って慎重に取り付けましょう。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押し、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

アームレスト装着車用背もたれ穴開け加工

※写真は別車種です



- ① 3ページを参照し、アームレストを取り外します。
次に、カバーをかぶせた状態でアームレスト取り付け部に印をつけます。



- ② 付けた印を線で結ぶように、カッター等で切り目を入れます。
※カバーを切る際に、シート本体を傷つけないよう注意して下さい。



- ③ 入れた切り目を元に、はさみ等で、図のように少し大きめにカバーを切ります。
※カバーを切り過ぎないように注意して下さい。

1 列目座面



①運転席の座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



④後ろ側に回り込み、背もたれから座面下部を覆っている生地を外します。生地はプラスチックのフックで座面下に引っ掛けてあります。フックを取り外し、生地をめくり上げます。



②側面のカバーは、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



⑤③で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥カバー前側にあるベルトを、座面下から後ろ側へ通します。



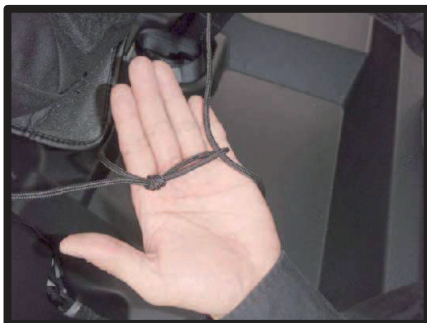
⑦ベルトとバックルを固定します。
 固定方法は、ベルトをバックルの真中の穴に通してから、端側の穴に通して、引き絞ります。（ちぎれない程度に力を加減して下さい。）



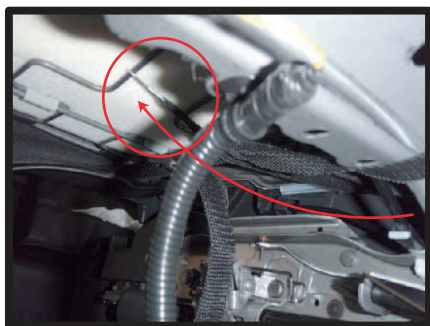
⑩助手席側は⑦までは同じ手順で行います。前側外側面から後側内側面にかけてヒモがあります。内側面は図のようにヒモを通します。



⑧カバーの内側面にあるゴムは、座面の側面にあるプラスチックカバー等を避けながら、S字フックを引っ掛けた状態で座面下に回します。



⑪座面下でヒモを結びます。
 片側のヒモで輪を作り反対側のヒモを通して絞りでから結びます。



⑨S字フックを座面下の適当な金属部分に引っ掛け固定します。（ゴムの使用は運転席側のみです）



⑫カバーの表面を整え、1列目座面の完成です。

1 列目背もたれ



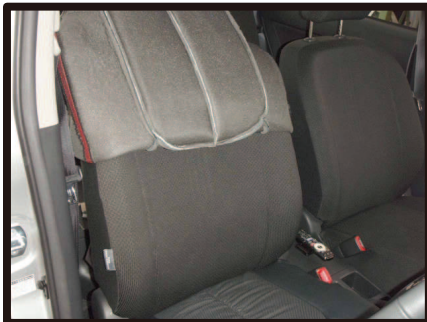
注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

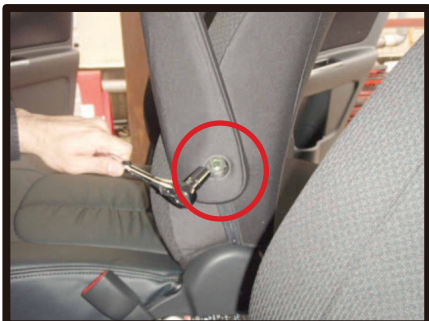
※アームレスト装着車は、取り外しが必要です



①背もたれにアームレストが有る場合は、カバーをかぶせる前にアームレストを取り外します。ヘラ等を使用し、アームレスト側面のプラスチックのカバーを外します。



④ヘッドレストを外し、カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。



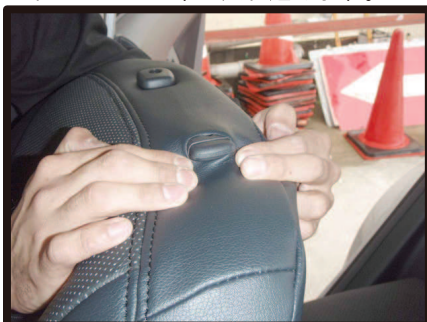
②ラチェット等を使用し、ボルトを外します。



⑤左右均等にカバーを引き下げていきます。座面の取り付け時に外しておいた座面後ろを覆う生地を、背もたれのカバーの中に入れ込みます。



③アームレストを外した状態です。



⑥ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意ください。



⑦ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

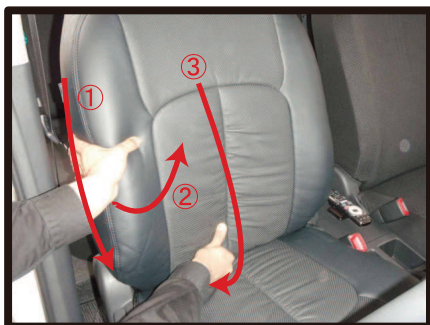


⑩ 生地同士をマジックテープで固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



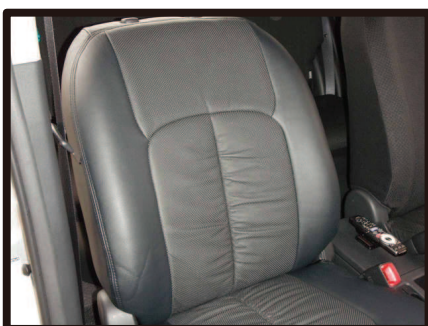
⑧ ①～③の順番にカバーをなで下ろしてシートに密着させるようにしわをなくしていきます。



⑪ 背もたれから座面下を覆うカバーにゴムがありますので、S字フックを取り付け、座面下の適当な金属部分に引っ掛けます。



⑨ ⑦で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。その際、サイドエアバッグ等の配線は、図のようになります。



⑫ サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバー表面を整え、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面



①カバーをシートラインに合わせてかぶせます。



④図は助手席側のベルトとヒモの固定位置です。
ヒモはシートベルトが通りやすいよう、少し上に寄せた状態で取り付けます。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤座面を元に戻して、シートベルトを穴から抜き出します。

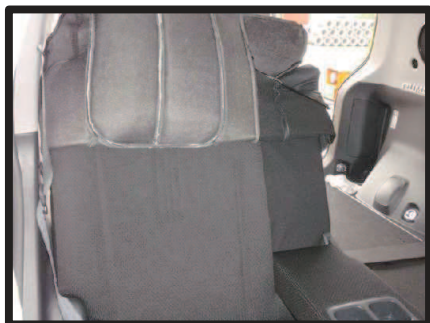


③座面を跳ね上げた状態で、上下のベルトの固定と、左右のヒモを結びます。



⑥カバーの表面を整え、2列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

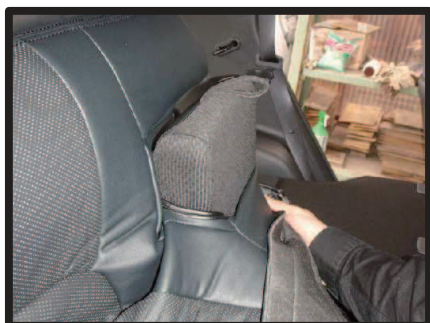
2列目背もたれ



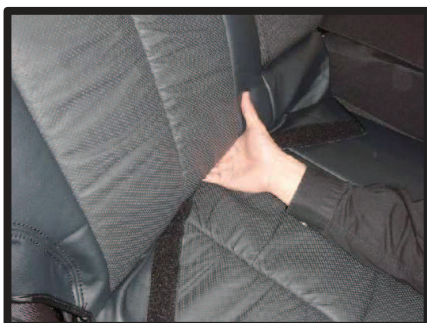
①ヘッドレストを取り外し、カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。



④アームレストを倒し、入れ込んだ生地を引き出します。生地同士をマジックテープで固定します。



②アームレストはカバーの大きな穴から抜き出します。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③アームレストと背もたれの隙間に、マジックテープの付いた生地を入れ込みます。



⑥肩口のレバー部分は、ヘッドレストの台座部分と同じ要領で、生地の伸びを利用してレバーの下にもぐり込ませます。

2列目背もたれ続き



⑦背もたれを前に倒して、荷室と背もたれの間にある板を、荷室側に倒しながら⑤で入れ込んだカバーを引き出します。



⑩背面にあるチャイルドシート固定用金具は、このようになります。



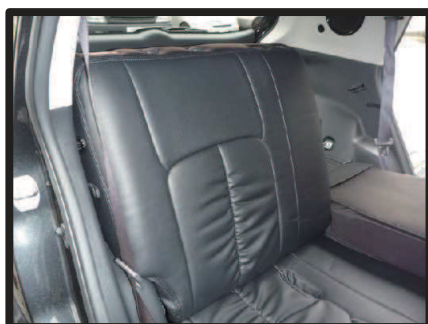
⑧生地同士をマジックテープで固定します。



⑪カバーの表面を整え、2列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨ファスナーを閉じます。
生地をよせながらスライダー（引き手）に、無理な力がかからないようにゆっくりと閉じます。



⑫2列目アームレスト無し車の場合もアームレスト部を除き、同様に取り付けます。

アームレスト

※グレードによっては、アームレストが無いものがあります



①3ページの③で取り外した1列目アームレストに、カバーをかぶせていきます。



④2列目アームレストに、カバーをかぶせていきます。
左右均等に引き下げて、マジックテープで固定します。



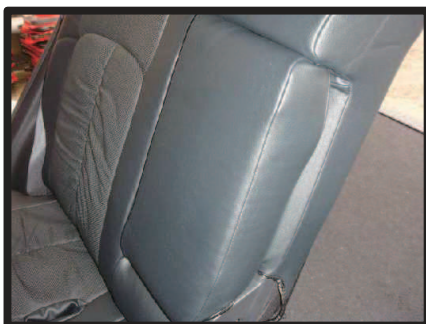
②途中までかぶせた状態で、アームレストを背もたれに取り付けます。



⑤カップホルダーとアームレストの隙間に、カバーを入れ込みます。

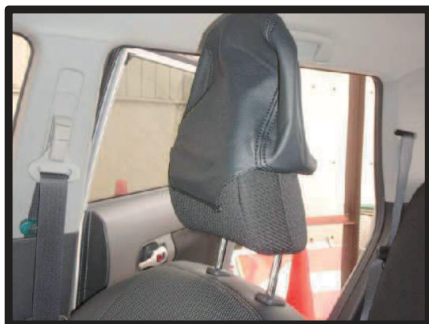


③マジックテープで固定し、カバー表面を整え、1列目アームレストの完成です。



⑥カバー表面を整え、2列目アームレストの完成です。

ヘッドレスト



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。



④平らなプラスチック側を生地とともにフック側に入れ込みます。



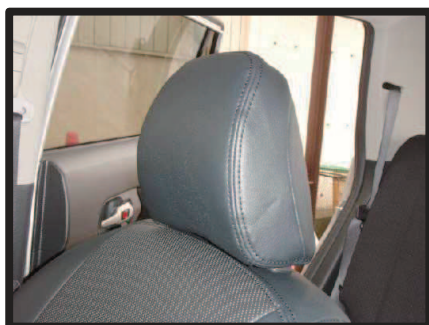
②左右均等に下まで下げていきます。
○の部分は力がかかり過ぎると破れる恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。



⑤固定した状態です。



③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。

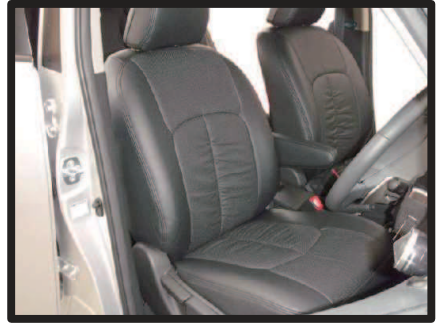


⑥ヘッドレストを、背もたれに取り付けて表面を整えれば、1列目のヘッドレストの完成です。2列目も同じ手順で取り付けて下さい。

完成図



⑦ 2列目ヘッドレスト完成図



1列目
※写真はアームレスト有り車



⑧ 2列目センターヘッドレスト完成図



2列目アームレスト有り車



2列目アームレスト無し車

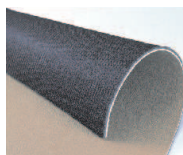


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

